

地域計画

策定年月日	令和7年3月26日
更新年月日	令和7年3月26日 (第1回)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	岩泉町 (03483)
地域名 (地域内農業集落名)	大牛内 (大牛内、清水野、高松)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	276 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	276 ha
② 田の面積	0 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	276 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	0 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0 ha
(参考)区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

比較的平坦で肥沃な台地の特徴を生かして規模の大きい畜産、野菜生産が営まれており、小規模な農地に借り手がつきにくい。また、水源に乏しく家畜の給水等に不便を強いられ、施設園芸導入も難しい。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

農地中間管理事業が未活用の農地の担い手への集積・集約化を進めるとともに、引き続き地域内外から農地を利用する者の確保を図る。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
農地中間管理事業を活用し、地域内・外の担い手への農地の集積・集約化に向けて、地域内での話し合いを重ね、担い手の農作業に支障がない範囲で農業を担う者により農地利用を進める。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	82	%	将来の目標とする集積率
			90 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
担い手の農地面積の拡大を図っていくほか、新たな担い手とのマッチングを推進する。			

(1)農用地の集積・集団化の取組
担い手や農地所有者の意向を適時確認し、農地中間管理事業を活用して集積・集団化を図っていく。
(2)農地中間管理機構の活用方法
農地中間管理事業を活用して担い手への農地の集約化を進めるとともに、園芸作物や飼料作物などの作付けなどを通して農地の遊休農地化を防ぐ。
(3)基盤整備事業への取組
必要に応じて進める。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
経営開始資金や次世代就農者支援事業等を活用し、新たな担い手の確保・育成を図っていく。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
予定なし

☒	①鳥獣被害防止対策	☐	②有機・減農薬・減肥料	☐	③スマート農業	☐	④輸出	☐	⑤果樹等
☐	⑥燃料・資源作物等	☐	⑦保全・管理等	☐	⑧農業用施設	☒	⑨耕畜連携	☒	⑩その他

- ① 農作物への被害を防ぐため、町や県の事業を活用しながら鳥獣被害対策に取り組む。
- ⑨ 飼料作物の栽培やたい肥センターの活用を通して耕畜連携を進める。
- ⑩ 土地や農機具等の第三者継承も視野に関係機関と連携して担い手確保に取り組む。

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度: 令和 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図 上の表示	備考
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
						ha	ha		
						ha	ha		
						ha	ha		
						ha	ha		
			na	na		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	0経営体		0 ha	0 ha		0 ha	0 ha		

5: 備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

	属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 16 年度)				
			経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図上 の表示	備考
1	認農		乳用牛	19.55 ha	ha	乳用牛	19.55 ha	ha		
2	認農		乳用牛	7.15 ha	ha	乳用牛	7.15 ha	ha		
3	認農		乳用牛	51.51 ha	ha	乳用牛	51.51 ha	ha		
4	認農		乳用牛	16.48 ha	ha	乳用牛	16.48 ha	ha		
5	認農		乳用牛	34.82 ha	ha	乳用牛	34.82 ha	ha		
6	認農		乳用牛育成・飼料	21.45 ha	ha	乳用牛育成・飼料	21.45 ha	ha		
7	認農		肉用牛	1.00 ha	ha	肉用牛	1.00 ha	ha		
8	認農		肉用牛	35.14 ha	ha	肉用牛	35.14 ha	ha		
9	認農		肉用牛	48.13 ha	ha	肉用牛	48.13 ha	ha		
10	認農		肉用牛	8.31 ha	ha	肉用牛	8.31 ha	ha		
11	認農		肉用牛	4.50 ha	ha	肉用牛	4.50 ha	ha		
12	認農		野菜	3.89 ha	ha	野菜	3.89 ha	ha		
13	利用者		肉用牛	4.50 ha	ha	肉用牛	4.50 ha	ha		
14	利用者		肉用牛	6.00 ha	ha	肉用牛	6.00 ha	ha		
15	利用者		肉用牛	2.62 ha	ha	肉用牛	2.62 ha	ha		
16	利用者		肉用牛	1.72 ha	ha	肉用牛	1.72 ha	ha		
17	利用者		肉用牛	1.25 ha	ha	肉用牛	1.25 ha	ha		
18	利用者		わさび	0.90 ha	ha	わさび	0.90 ha	ha		
19	利用者		わさび	1.30 ha	ha	わさび	1.30 ha	ha		
20	利用者		野菜	0.79 ha	ha	野菜	0.79 ha	ha		
21	利用者		野菜	3.10 ha	ha	野菜	3.10 ha	ha		
22	利用者		肉用牛	2.38 ha	ha	肉用牛	2.38 ha	ha		
23		検討中		ha	ha		ha	ha		